



赤十字奉仕団事務局便り №.3 (11月)



日に日に秋が深まる季節となりましたが皆さまいかがお過ごしでしょうか?

先般、開催されました販売会も好評に終わりご協力頂いた皆さまありがとうございました。

♪ 11月2日(月)開催の東市民センター朝市のバザーに赤十字奉仕団として参加しました。北市民センターの朝市(11月13日9:00~10:00)にも奉仕団として参加し、バザーをしますのでお時間のある方は、是非足を運んでみてください。担当は近くの3班さんにご協力して頂きます。

♪日本赤十字社埼玉県支部のフェイスブックに鶴ヶ島市赤十字奉仕団が西中学校の福祉教育に参加したことが掲載されました。西中学校も青少年赤十字に所属されていて、とてもいい形でコラボ出来ました。

♪10月31日付け埼玉新聞13面の「防災特集」で鶴ヶ島市赤十字奉仕団が実施しました事業講習会(2月18日)災害図上訓練DIGの様子が掲載されました。

皆さんの陰の活躍が表面化されて嬉しい限りです♪



福祉施設へ渡す「牛乳パックで作る足置き台」を以下の日程で製作したいと思いますのでご協力をお願いいたします。

11月16日(月)9時~12時 6階会議室

材料は準備します。ご自宅にお持ち帰りしても構いません。

皆様の参加をお待ちしております。

【10月7日実施 鶴ヶ島市立西中学校 福祉教育 対象：20人】

講師として大役を果たされたのが広瀬さん、吉浦さんです。お疲れ様でした。

堂々と説明をされていて本当に素晴らしいかったです。

ありがとうございました。



✿生徒の皆さんからの感想や製作物（一部紹介）✿

◎今回の体験学習で知ったことがたくさんありました。中でも学んだのは、赤十字奉仕団の33名の皆様がたくさんの人たちの為に、様々な活動をされていることに驚きました。奉仕団の皆様の授業のお陰で災害が起こった時にどのような行動をするのか、災害に備えておくもの、対策方法を詳しく知ることが出来ました。今回の体験学習を活かして今の自分に出来ることを精一杯したいと思います。本当にお世話になりました。これからも赤十字奉仕団の皆様のますますのご活躍をお祈りいたします。

◎家の周りの危ない場所を書いたときです。思ったよりも危ない場所が多く気を付けなければならぬと、改めて気付くことが出来ました。

◎防災について学べました。特に印象に残ったことは、ハザードマップです。ハザードマップに避難時、危ない場所を皆で話し合いをし、奉仕団の方がいろいろ教えてくださいました。他にも学びましたが、避難の時の為に準備をしておこうと思います。



◎自分の身は自分で守るという事が改めて分かりました（てんでんこ）。常に防災の意識を持ち、人に迷惑をかけない様にしたいと思いました。

◎私たちの通学路や地域にもまだ危険な所がたくさんあるという事です。地図に書き出してみると危ない所が沢山ありとても驚きました。また「イツモ防災」を心がけながら生活しようと思いました。

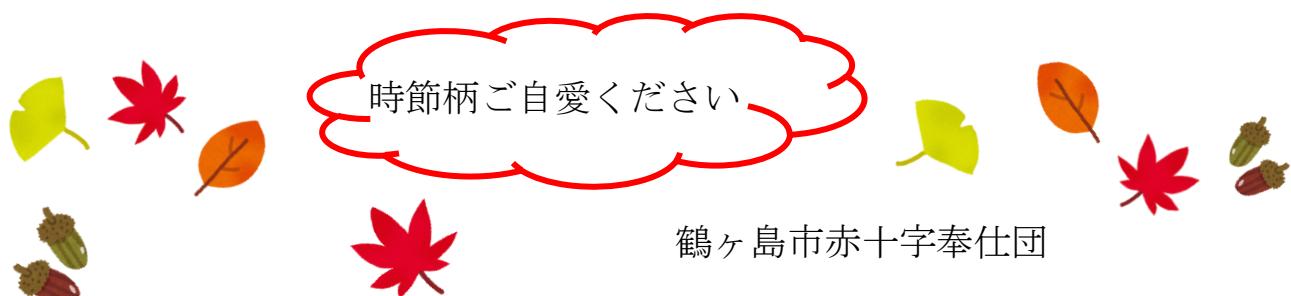
◎日頃から災害に備えておくことの大切さを知ることが出来ました。家具の固定や大量の水の備えの必要さを知ることが出来ました。家に防災グッズを備えます。

◎家族に防災グッズの話をして自分の家はあまり準備出来ていなく、もっと防災の意識を高めないといけないなと思いました。特に印象に残ったのが、自分たちの飲む水が想像以上に用意しなければならないという事です。とても貴重なお話が聞けて、これから的生活でも防災について考えていきたいです。

まだまだここに書ききれない感想文があり、全部載せられないのが残念です。

生徒さんたちにも防災が思ったより好評で、「青少年赤十字のススメ」にも関心を示していました。今回の授業で日本赤十字社、鶴ヶ島市赤十字奉仕団のことを知って貰うことが出来て良かったです。

ご意見、ご要望などありましたら事務局までご連絡ください。



事務局 島野・小峰

電話 049-271-6011



【鶴ヶ島市立西中学校 福祉教育】 埼玉県支部のフェイスブック引用



日本赤十字社埼玉県支部

10月27日 23:29 ·

【鶴ヶ島市赤十字奉仕団の活動をご紹介】

令和2年10月7日に鶴ヶ島市赤十字奉仕団が、鶴ヶ島市立西中学校（青少年赤十字加盟校）で福祉教育授業において防災教育の授業を行った様子をご報告いただきました。

「まず、自分が住む地域の危険個所や避難所についてチェックシートで確認をしてもらいます。そのチェックシートを発表してもらい、生徒同士で共有します。共有することで、自分には無かった気づきに気づくことができ、皆で防災意識を高めることにつながります。

次に、挙がった危険個所等を地図に書き込んでいきます。これは赤十字防災セミナーで行った「災害図上訓練（D I G）」の手法を活用したものです。

最後に、出来上がった地図を発表してもらいました。

鶴ヶ島市赤十字奉仕団として初めてのことであり、準備も大変でしたし緊張しながらの授業となりましたが、とても良い授業となり大成功で終えることができました。生徒の皆さんも積極的に危険場所や気になるところを付箋に書き込み、生徒目線でしか気付かないような発表もありました。」

地域赤十字奉仕団は、埼玉県内に49団あり、それぞれの団が地域のために日頃から福祉活動や防災訓練などを行っています。

今回は、青少年赤十字加盟校の生徒との交流を実施していただきました。同じ赤十字の活動を進める奉仕団と青少年赤十字の交流という良い事例となりました。

青少年赤十字加盟校は、現在、県内で約600校（園）が加盟し、地域の福祉活動や、募金活動、清掃活動などを実施しています。



【防災特集（災害図上訓練 DIG の様子）】10月31日付け埼玉新聞13面引用

が入った緊急セット2228
セット、安眠セット315
セット、タオルケット20
枚を配達した。また、赤
十字ボランティアも避難所
で炊き出しや義援金の募集
等県内各地で活動した。

防災意識の啓発

東日本大震災以降「いの
ちを救う」活動として、防
災教育事業にも力を入れて
いる。地震や津波に加え
近年の地球温暖化の影響か
ら台風や大雨による土砂災
害等身近で多くの災害が発
生している。平時から県民
に対して災害からいのちを
守り、暮らしをつなぐため
守り、暮らしをつなぐため

が入った緊急セット2228
セット、安眠セット315
セット、タオルケット20
枚を配達した。また、赤
十字ボランティアも避難所
で炊き出しや義援金の募集
等県内各地で活動した。

に、「災害と地域を知り、「自
助」と「共助」の力を高める
ことが必要だ。

災害時に自分自身や家族
の「いのちを守る行動」が取
れるように、必要な知識と
日頃からの備えが重要なた
めに、住んでいる周辺の危険な場所を知ること
で防災力を高め、地域住民
が協力できる関係を築いて
おくことが重要になる。

この防災教育事業はこれ
まで長年にわたり災害と共
に向き合い、被災者支援を
続けてきた経験と知識に基
づいたもの。今後、発生が
予想される首都直下地震や
南海トラフ地震等の大規模
地震に備え、いのちを守る
ための「自助」と「共助」の行
動が取れる備えが重要だ。

また、災害発生時に地域
で応急的な対応にあたる赤
十字ボランティアのリーダー^{1層}を育成する「赤十字防
災セミナー」を開催。主に
自治会・町会を対象に被災
した時の被害を最小限にす
るために活動を続けていく。



三郷市のセミナーの様子＝2019年5月27日、
三郷市健康福祉社会館



鶴ヶ島市のセミナーの様子＝2020年2月18日、
鶴ヶ島市女性センター

【東市民センター朝市】 杉下地域支え合い協議会 主催

日時：11月2日（月） 午前9時～10時

お手伝いして頂いた五傳木委員長、千嶋さんありがとうございました。



♪来月は12月7日（月）
9時～10時です。
お近くのかたは、是非
覗いてみてください。